

令和4年12月三浦市教育委員会定例会会議録

○日 時 令和4年12月23日（金） 午後3時00分～午後3時56分

○場 所 三浦市役所第2分館 第2会合室

○次 第

1 開 会

2 会議録の承認

3 署名委員の指名

石 毛 浩 雄 委員、 石 崎 勇 吾 委員

4 教育長報告

(1) 学校給食について

(2) 2学期と今後の行事について

5 報告事項

(1) 令和4年11月の後援名義等使用について

(2) 三浦市学校教育ビジョンについて

(3) 令和4年第4回三浦市議会定例会の状況について

6 その他の事業について

(1) 令和5年三浦市「はたちのつどい」の開催について

7 その他

8 閉 会

○出席委員（5名）

教 育 長	及 川 圭 介
教育長職務代理	石 毛 浩 雄
委 員	石 崎 勇 吾
委 員	廣 瀬 牧 実
委 員	石 渡 博 幸

○説明のために出席した職員

教 育 部 長	増 井 直 樹	教育総務課長	塚 本 孝 治
学校給食課長	武 田 健 二	青少年教育課長	平 松 恭 輔

○事務局出席者

教育総務課グループリーダー	浦 西 伸 一	教育総務課主事	吉 田 か お り
---------------	---------	---------	-----------

○傍 聴（0名）

○及川教育長 それでは皆さんこんにちは。

ただいまから令和4年12月三浦市教育委員会定例会を開会いたします。

まず、はじめに前回の会議録の承認を行います。

前回会議録の案につきましては、すでに皆さまのお手元に送付してございますけれども、本案修正等に関する皆さまの御意見をいただいた上で、誤字脱字等の修正につきましては教育長一任とすることについて承認をいただきたいと思っております。

それでは、修正等につきまして御意見ございましたら、お願いしたいと思っておりますがいかがでしょうか。

(発言等なし)

○及川教育長 よろしいでしょうか。なければお諮りいたします。

前回会議録につきまして、令和4年11月三浦市教育委員会定例会会議録のとおりとすることについて、併せまして、誤字脱字等の修正につきましては教育長一任とすることについて、御異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

○及川教育長 ありがとうございます。

御異議ないようですので、前回会議録につきましてはそのようにいたします。

本日の定例会の会議録署名委員に石毛委員と石崎委員を指名いたします。

よろしく願いいたします。

○及川教育長 それでは、次に進みたいと思っております。次第4「教育長報告」であります。

今回の教育長報告ですけれども、まず学校給食につきまして給食費については前回もお話いたしましたけれども、国の交付金を活用しながら10月から来年の3月まで無償ということで行っているところではありますけれども、その一環といたしまして地元の高級食材を使った給食の提供を行いました。今回につきましては、三崎調理場で提供している給食は16日(金)、南下浦調理場で提供している給食は20日(火)に「三崎マグロの日」ということで、メバチマグロのカツ、マグロのそぼろということで子どもたちに提供いたしました。三崎マグロということで高級食材ですので通常の給食では使用できない食材なんですけれども今回使用したということですので。1食600円、通常の給食の1食あたり2.5倍ほどの単価になるんですけれどもそれを提供したということでもあります。子どもたちの評判も良好だったということでもありますけれども、学校給食課長どのような声がありましたか。教えていただけますか。

○武田学校給食課長 学校から返ってくる連絡事項にも子どもの意見が書いてありました。「涙が出るほど美味しい」、「コロナに感染してしまったけれども、その給食を食べるために頑張って治しました。」とか一様に喜ぶ声がありました。

○及川教育長 はい、ありがとうございます。

この「三崎マグロの日」については献立表にも当然載せてありましたので、子どもたちも楽しみにして美味しく食べたということでもあります。この地元高級食材を使った給食については、第2弾として2月ごろの提供になると思いますが「三浦牛の日」を予定しております。

本日23日は、市内小中学校の2学期の終業式であり、明日から冬休みということでもあります。この2学期につきましては、大きな行事もありましたけれどもコロナも収まり切れない中での行事でしたけれども、振り返るとまず中学校の修学旅行がありまして、南下浦中学校が1か月程延期という取組でしたけれども3つの中学校がすべて実施することができました。約3年振りということで実施ができて本当に良かったと思っています。

小学校の修学旅行につきましては、一昨年、昨年と1月に延期しての実施でしたけれども今年については予定どおり10月の実施ということで行うことができました。

また、運動会につきましても春に2校すでに実施して、残りの6校がこの秋ということで、岬陽小学校はコロナの関係で1週間延期していたんですけれども、すべての学校が実施することができました。

コロナ禍であってもできることは実施していきましょうという基本方針で進めてまいりましたけれども、2学期の大きな行事についてやれてよかったと感じているところであります。

また、今後の大きな行事といたしましては3学期の卒業式についても状況を見ながらということに当然なるんですけれども、できる限り通常に近づけるかたちでできればと思っております。制限ということは、まだまだつきまとうところではありますけれども、できる限りのことはやっていきたいと思っております。

また、今週の21日（水）に校長会議の中で冬休みが12月24日から1月9日まで17日間ありますけれども、事故の無いよう安全に過ごせるような指導のお願い、そして年末年始も学校を閉じる期間があります。今年については12月28日（水）から1月3日（火）までとなっております。戸締りの確認、そして、その間何かあったときの緊急連絡の体制の確認ということも行いました。年末年始、慌ただしくゆっくり休むというかたちにはなれないかもしれませんが、先生方にはリフレッシュをしていただいて新年、新しく子どもたちを出迎える準備をしていただければと思っております。教育委員会としてもそのような学校を支援していきたいと考えております。

1月に入りますと教育委員会として大きな行事は「はたちのつどい」があります。これにつきましては、後程、担当から説明をさせていただきますので、よろしく申し上げます。

教育長報告は以上です。何か御質問等ございましたらお願いいたします。

いかがでしょうか。

○石渡委員 先日の学校訪問のときに旭小学校で子どもたちと一緒に給食を食べさせていただいて、黙食がきちんとできていて素晴らしいなと思いました。逆に学校現場にいた人間としては寂しいなと感じました。そういう中で全国では黙食をやめるといった傾向が出ていると思いますが、三浦市はいかがでしょう。

○及川教育長 黙食ということに関しては、文科省のガイドラインには黙食をしると載せていないという話ですが、現実、学校では席も一定方向を向いてお喋りをしないということがあり

ます。三浦市についても学校ごとで多少違うことがあるんですけれども、やはりまだ積極的にお話をしながら給食を食べましょうというかたちにはなっていません。

先日マグロの日に南下浦小学校に行って子どもたちと一緒に食べたわけではないんですけれども、別室で食べて、その後、教室の子どもたちの様子を見ましたけれども、やはり大きな声でお喋りというのはまだまだできていません。ただ、我々が教室に入って言葉がけはしているとの確認をしましたので、これまでよりは少し緩和をしているのかなと、遠くの子と大きな声での会話はもちろんないんですけれども、近くの子と小さな声でということは少しずつできていくのかなと思っています。

そのほかいかがでしょうか。

○石毛委員 給食費の無償は3月までということですがけれども、三浦市以外の自治体でも行われているのでしょうか。

○増井教育部長 東京都の23区の中ではいくつかあります。ただ、県内自治体の中では給食費自体を公費負担して、いただかなくなるというところはないと思います。ほかの自治体では、物価高騰分の給食費の値上げをせざるを得ない部分を公費負担しているところが多く、三浦市のように全額というのは中々ないです。

○石毛委員 すばらしい取組みだと思いますので、県内、唯一ということはおっとPRしてもいいのかなと気がしました。

○及川教育長 そのほかいかがでしょうか。よろしいでしょうか。なければ次に進みたいと思います。

それでは、次第5「報告事項」に入りたいと思います。

(1)令和4年11月の後援名義等使用について、報告をお願いします。

○塚本教育総務課長 それでは令和4年11月の後援名義等の使用について御報告いたします。議案、資料1ページ、資料1を御覧ください。

令和4年11月に資料記載の教育総務課関係4件の申請につきまして、後援名義の使用承認をいたしました。

内容等について御不明な点がございましたら御質問をお願いいたします。

○及川教育長 報告は終わりました。御質問等がございましたらお願いいたします。いかがでしょうか。

(質問等なし)

○及川教育長 よろしいでしょうか。なければ次に進みます。

続きまして、(2)三浦市学校教育ビジョンについて、報告をお願いします。

○塚本教育総務課長 学校教育ビジョン地域協議会等について説明いたします。

本日配付しました資料については、後程、御説明いたしますが市民向けアンケートの自由記述一覧となっております。

12月3日に剣崎小学校保護者との意見交換会を実施いたしました。保護者については22名の参加がありました。この意見交換会では保護者アンケートの結果において、地域協議会委員から、「複式学級についての理解が十分ではなかったのではないか」との意見があり、複式学級についての説明も含めた意見交換会というかたちで開催しました。

参加された保護者からは、「学級の人数が多くなるなら複式学級で良いと考え回答したが、授業の様子などを聞き、考えを変えた」等の意見もいただき、実施してよかったと感じられました。

また、保護者の中からは「今日は、統廃合するならいつになるのか聞きに来た。」などに統廃合したのならばの意見、要望が多数ございました。今後も継続した意見交換を希望する御意見がございましたので、引き続き対応していきたいと考えております。

そして、配付資料の市民アンケートの自由記述のまとめですけれどもカテゴリー毎にまとめております。

まず、統廃合賛成または容認のうち「通学の改善要望」が14件、もうひとつが統廃合賛成または容認のうち「その他」が10件、合計で24件になります。

次に、「統廃合反対または小規模校希望」が22件。およそ半々くらいになります。

その他の「通学の改善要望」が5件、その他の「施設に関する要望」が16件。その他の「人口施策要望」が14件、どこにも属さない意見の「その他」が18件という結果でした。後程ゆっくり見ていただければと思います。

報告は以上です。

○及川教育長 報告は終わりました。

御質問等ございましたらお願いしたいと思います。いかがでしょうか。

○廣瀬委員 剣崎小学校の意見交換会の複式学級の理解というので、少し考えを改めたという方もいたということですが、やっぱりそういうことを含めると複式学級の理解というのにはされていなかったのかなという感じで全体的にそのようだったのでしょうか。

○塚本教育総務課長 全体として複式学級が理解されていたかということは正直、掴みきれなかったんですけれども、多かれ少なかれ理解できていない方はいらっしやったのかなと気づきました。

○石渡委員 複式学級の件について、剣崎小は数年前にそういうかたちを取ったことがあったという認識があるのですが、それを含めて今の保護者の方は複式学級について分かっていたということが現実なんですか。

○塚本教育総務課長 複式学級になりそうだという年があったんですけれども、結局その学年は0人になってしまったので複式学級というかたちは取っていないのが実態です。

○及川教育長 実際到现在まで剣崎小学校で複式学級という学級編成をしたことはないです。

○増井部長 今回、保護者の方々からの御意見もあって、このような意見交換会を開催いたしました。課長からも報告があったように参加された保護者の方々からは現状を考えると、私たちは将来というような言い方をして複式学級になってしまうのが数年後には迫ってきているというような御説明をしましたが、そうではなくて来年でも再来年でも保護者の方たちにとっては現実的な問題ですと、こちらが考えているよりもすごく切実な、明日にでも解決してほしいような悩みとして捉えているんだというお考えを強く言われる方もいらっしゃいました。

私たちとしては現実的にすごく大変な状況であると感じて施策に取り組んでいますけれども、こちらが思うよりも地域、保護者の方にとってはもっと明日のこと、今でも悩んでおられる状況なんだなということが把握できた会になったかなと思います。

そのため、最後に会が閉じた後も教育長も含めてかなり長い間、色々なお話をお聞きしたんですけれども、その中でもぜひこれだけではなくもっと情報が欲しいし、意見を聞いていただきたいという話がありましたので引き続きのお約束をしてきたところです。

○石渡委員 以前、剣崎小学校の中に小規模学級が嫌だということで、就学する児童をほかの学校へ入れて、1学級の人数が多い中での学びをさせたいということがあったと認識していますが、そういったことで1学級ある程度の人数が望ましいという意味で悩まれているのか、少人数でも仕方がないという認識なのでしょうか。

○増井教育部長 先日の意見交換会の中で特に不安に思っているという訴えがあったのは全体の人数よりも、10人、20人以下の学級になるとどうしても性別に偏りが出てくる年が出てしまいます。どちらかが5人以下となったときに果たして6年間過ごせるのだろうか。また、その中の1人でも欠けてしまえばクラスの中で同性が1人しかいない、ほかに誰もいないという状況になってしまう、そのことに対する危惧が強いことを感じました。

剣崎小学校は長い間小さな学校というのが地域にも浸透してきているので、全体の人数が少ないのはいいんだけど、やはり男女の数がすごく心配ですという声を聴いたところです。

今よりももっと小さくなってしまえば全体の人数ももっと切実な問題として捉えられてくるとは感じています。

○及川教育長 今の剣崎小学校に通っている保護者というのは剣崎小学校の規模でいいと思って入学させていますので、学校を否定的に見ていることはほとんどないです。むしろ剣崎小学校が子どもの数が少ないながらも教育をしっかりとやってくれていることをよく評価して頂いているので、今回のアンケートの結果にも表れてきていると思います。

つまり、1つの学年、クラスが10人以下ということは望まないは、0%だったんですけれども、複式学級がよいは24.4%でした。それは剣崎小学校が少なくとも子どもたちの教育をよく見ているから2つの学年がまとまったとしてもいい教育をしてくれるんじゃないかという期待を込めておそらく選んでくれていると思います。

でも実際問題として2つの学年を1人の担任の先生が見るということは、例えば3、4年生の学年だったとするならば、3年生の授業をしているときは4年生は自習しているわけですね。一つの教室の中に先生はいますけども4年生の学習はしていないわけですから子どもたちだけで学習をしている、逆も同様ですね。半分自習になってしまいます。そういう実態を伝えると、やはり今までのようないい教育は望めないのかなということ考えていくということになると思います。

あとは男女のバランスということは今、出ましたけれども、それはとても大きな問題だということには言っていました。特に10人以下になると男女のバランスが少し崩れるとどちらかが2、3人になります。そのまま入学してくれればまだいいんですけども、1人がその人数ではと、ほかの学校へ行ってしまった場合2人になってしまう、そのうちの1人が出ていってしまえば1人になってしまう。ということをお心配しているということで、男女のバランスを入学する前から情報を欲しいということがありましたので、教育委員会ではきちんと情報を伝えながら相談ののっていきますということも伝えていきます。この間の意見交換会の中では、やはりどちらかというところの先どうなるのか、やるならいつなのかをはっきりして欲しいという声のほうが大きかったと思っています。その辺をきちんと受け止めて、毎年、自分の子どもが入学するときはどうなるのかという不安がつきまわっていると思うので、そのような不安を教育委員会としてもしっかりと受け止めて、それに対応していくようなスケジュールで進めていくように考えていかなければいけないなと感じました。

○廣瀬委員 保育園に2人、今度、剣崎小学校に通う子がいるんですけども、学区は剣崎小学校だけでもやっぱりどうしようかという相談は2人ともありました。決めるのは最終的には保護者ですよ話をしながら相談ののりましたが、悩みに悩んで剣崎小学校を選んだんですけども、2人とも男の子だったのでお互い行くのが分かって、気持ちが安心したこともありつつ、剣崎小を選んだんですけども、ただ、その方がこの間、学校に行って帰ってきたときに、今年9名だと言ってきたので、決めるまでも悶々とした悩みを持ちつつ、決まっても入学者の人数を聞いて剣崎小を選んでよかったのかなって、不安に思っているのを実際に話を聞いていて実感は受けています。

○及川教育長 複式学級ということで付け加えて言うと今の学年の中でも1人、2人と転出していく児童がいると複式学級の対象になるような学年も出てくる可能性があります。だから今の保護者の方たちにも先の問題じゃないという問題意識は持っています。それも現実かなと思います。

そのほかいかがでしょうか。よろしいでしょうか。

学校教育ビジョンについては、これからまた取組は進んでいきますので、その都度、報告はさせていただきます。よろしく願いいたします。

それでは次に進みます。続きまして、(3)令和4年第4回三浦市議会定例会の状況について、報告をお願いします。

○増井教育部長 それでは令和4年第4回三浦市議会定例会の状況について御報告いたします。議案・資料2ページからの、資料2を御覧ください。

令和4年第4回定例会では、市からの議案33件の審議及び採決が行われ、3件の報告が行われました。

そのうち、三浦市教育委員会関係の案件は議案1件でございます。

議案第77号令和4年度一般会計補正予算第5号は、11月三浦市教育委員会定例会において議決いただきました小学校費、中学校費、学校給食費に係る補正を含むものでございます。

総務経済常任委員会に付託され、審査、承認されました。

委員会では、物価高騰による学校給食費への影響についての質問があり、令和5年4月以降は現状の給食費では不足することが見込まれるため、給食費月額の見直しが必要である旨お答えしております。

また、議案第55号三浦市職員の定年等に関する条例の一部を改正する条例は、教育委員会事務局職員にも適用されるものです。

今後、職員の定年年齢を現行の60歳から段階的に65歳に変更されることなどがその内容でございます。

すべての案件は12月16日の市議会本会議において採決が行われ、承認が議決されました。

次に、今議会で行われた一般質問のうち、教育委員会への質問をされました4名への答弁内容について、簡単に御報告いたします。

1人目は、日本共産党の石橋むつみ議員です。学校で活動中の図書ボランティアの状況について質問され、登録数等をお答えし、議員からは、学校図書室での活動の充実を要望されました。

2人目は、自由民主党の千田征志議員の質問です。

教職員の時間外勤務の状況について質問され、現状と部活動の地域移行についてお答えいたしました。

3人目は、日本共産党の小林直樹議員です。質問は、3点ございます

学校教育ビジョンに関して、市民アンケートの結果への考え、見直し内容について問われ、記載のとおりお答えし、教育長からは、小中一貫教育を進める必要があるとの考えに変更はない旨などお答えいただきました。

通学路の安全性に関しては、合同点検と点検箇所の整備状況についてお答えいたしました。

就学援助と学校給食費については、現状をお答えし、議員から就学援助の充実と学校給食費補助の継続を要望されました。

4人目は自由民主党の神田眞弓議員です。質問は2点ございます。

学校教育ビジョンに関して、ビジョン見直し後の取組を問われ、市長から教育委員会だけでなく、全庁で取り組むとの考えが示されました。

療育に関しては、福祉担当部署との連携と支援教育の充実を要望されました。

一般質問の内容と答弁についての詳細は、資料を御確認ください。

令和4年第4回三浦市議会定例会に関する報告は以上です。

○及川教育長 報告は終わりました。

御質問等がありましたらお願いいたします。いかがでしょうか。

○及川教育長　今の説明の中で給食費の値上げのことが出ていましたけれども、給食費については学校給食会が管理しております。そこから給食費に関しての通知が出されたのでそのことについてよろしいですか。

○武田学校給食課長　令和5年度以降の給食費の関係について、現状の食材費の高騰によりまだ見通しが今後も上がり続けるのか、そのような可能性もあることから現段階では令和5年4月からの給食費についてはまだ、未定となっている旨を保護者に通知しております。

21日の校長会議で各小中学校長には承認をいただいて、23日の終業式までには市内小中学校の保護者に家庭実数での配布をしています。

○及川教育長　議会とは直接の関係はないんですけども食材の値上がり、高騰についてはよくニュースで報道されているところですけども、当然給食の食材についてもその影響は受けていますので、3月までは無償ということになってはいますが、それ以降の給食費については少し厳しいかもしれませんということの情報提供ということでの通知を出させていただいているところでもありますので、併せて御承知いただければと思います。

そのほか御質問いかがでしょうか。

○石崎委員　その通知は今度、入学する御家庭にも配布されているのでしょうか。

○武田学校給食課長　在校生の保護者に対して配布しております。

○及川教育長　入学する保護者については、この後1月の下旬から2月の中旬にかけて入学前の説明会がありますので、そのときにその時点で学校ごとに情報提供がされます。

そのほかいかがでしょうか。

○石渡委員　神田議員の学校教育ビジョンについてのところで、複式学級は学校教育では避けるべきであるという御意見のようですが、その辺の受取方としてやはり議員の皆さんの中にもそうした状況の学校規模を考えていかなければいけないんじゃないかというところで統廃合を進めなければならないのかという御意見を持っている方もいらっしゃるのでしょうか。

○増井教育部長　一般質問とか委員会での説明、議論の中で今まで御意見をいただいた中では学校教育ビジョンが当初、掲げていた1中学校区1小学校について令和7年度までにと掲げておりましたが、そこについては色々議論がありましたけれども、やはり小さすぎる学校については、どこかの段階で統合というものを考えていかなければならないだろうというお考えは、お持ちの議員の方がいらっしゃると思っています。

○及川教育長　明確に姿勢を表明しているわけではない方も多くいますので、そこは慮ることしかできないんですけども、両方いるということですね。

そのほかいかがでしょうか。

○石毛委員 剣崎小学校以外の学校でも意見交換会をする予定はありますか。

○塚本教育総務課長 当初の学校教育ビジョン策定の折には説明会などを行ってきた経過がございます。今後、統廃合を段階的に進めていくという計画の準備をしておりますけれども、その中で必要に応じて学校への説明、意見交換会というのは必須だと思っております。具体的なスケジュールが決まればお示ししていくようになります。

○及川教育長 色んな場面での説明は今後、必要になってくると思うんですけれども、今回の剣崎小学校の意見交換会は先ほど申し上げたように、保護者アンケート結果で剣崎小学校は特徴的な部分が見えたので行なったということなので、複式学級の説明ということでのことを、ほかの学校でする必要があるのかといったらそうではないと思います。また違うことでの意見を聞くというようなことについては、その時の状況に応じて考えいければと思っております。

○及川教育長 そのほかいかがでしょうか。よろしいでしょうか。なければ次に進みます。
続きます、次第6「その他の事業について」に入りたいと思います。(1)令和5年三浦市「はたちのつどい」の開催について、事務局より説明をお願いします。

○平松青少年教育課長 それでは、令和5年三浦市「はたちのつどい」の開催について御説明いたします。

お手元の資料14ページ、資料3を御覧ください。

はじめに内容の説明をさせていただいた後に、先日、リハーサルを行いましたので、その内容を録画したものをこちらのモニターで報告させていただきたいと思っております

4月より民法が改正され青年年齢が20歳から18歳に引き下げられましたが、以前からも御説明をさせていただいておりましたが、三浦市においては20歳を迎えられる方を対象に「はたちのつどい」を開催いたします。

人生の節目である20歳を迎えた人を対象に祝い励ますとともに、改めて成人になったことを自覚するきっかけとし、郷土である三浦市への関心を深め、郷土愛を高める機会とすることを目的に、新型コロナウイルス感染防止対策を徹底しながら、令和5年の三浦市「はたちのつどい」を開催いたします。

日時は、令和5年1月9日（月・祝）の成人の日、午前10時30分からうらりの市民ホールにて執り行います。

主催は、三浦市、三浦市教育委員会、はたちのつどい運営サポーターです。今年度のサポーターは7名で式典の進行、はたちの宣言などで活躍をしていただきます。

対象の新成人は、平成14年4月2日から平成15年4月1日までに生まれた方で、令和4年11月1日現在の住民登録で325の方が対象となっており、前年に比べ22人減となっております。

サブタイトルですが、生まれ育った三浦の仲間と会える日、20年間の感謝の気持ちや、思い出を大切にす気持ちを込めて選んだ言葉として、「20年間の感謝を込めて」となっております。

式典内容ですが、新型コロナウイルス感染症対策を講じた開催とし、サポーターの開会のことばから始まり、前回と同様に国歌・市歌の演奏へと順次進み、映像による「お祝いメッセージ」、サポーターによる「はたちの宣言」を行います。

式典の周知・広報につきましては、三浦市民、三浦市ホームページのほか、対象の新成人には12月8日に案内状を送付しております。

なお、三浦市出身で現在市外在住である方や三浦市の式典へ出席を希望している方からの問い合わせに対しましては、出席が可能であることと当日、直接受付へ申し出てほしい旨のアナウンスをしております。

教育委員の皆さまには、資料配布時に御案内をお渡しさせていただきましたが、御出席のほどよろしく願いいたします。

以上で説明を終わります。

○平松青少年教育課長 こちらの画面につきましてはYouTubeで配信する動画画面だと御理解いただければと思います。

(モニターでリハーサルの様子を鑑賞しながら内容を説明)

三浦市のホームページが12月22日にリニューアルしました。「はたちのつどい」で検索をしていただくと画面が出てきます。この中にオンライン配信というものがあり、その下に公式YouTubeチャンネル「三浦市はたちのつどい」がありますので、こちらにアクセスしていただくと、今現在はライブ配信をしますという予告のサムネイルを登録してありますので、もし、よろしければ周りの方にも御紹介いただいて、より多くの方々に見ていただきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

説明は以上でございます。

○及川教育長 説明は終わりました。

御質問等がありましたらお願いいたします。いかがでしょうか。

○石毛委員 案内についてお聞きしたいのですが、市外の方、入場券を忘れた方の本人確認等を行いますか。

○平松青少年教育課長 本人確認等は考えておりません。誰でも来た方を受けようなかたちで考えております。

○石崎委員 ライブ配信終了後も見ることはできますか。

○平松青少年教育課長 終わった後も少しの期間、いつでも見られるようなかたちで考えております。一か月くらいを考えています。

○石崎委員 それ以降は見られないのでしょうか。

○平松青少年教育課長 多くの自治体でもそのような対応をしているので、期間を決めて配信したいと思っております。

○石渡委員 会場の椅子の配置がロの字型になっていたと思うのですが、あれは意図があるのでしょうか。

○平松青少年教育課長 リハーサルなので会場の作りも簡単に作りましたので、本番とはまた違います。

○及川教育長 ステージの方を向いて左側が教育委員、右側が来賓というかたちになります。今回の動画配信については、かなり気合が入っておりますので、ぜひ見ていただければと思います。

○及川教育長 そのほかいかがでしょうか。よろしいでしょうか。
それでは、続きまして次第7「その他」に入りたいと思います。事務局から何かありますでしょうか。

(特になし)

○及川教育長 それでは、教育委員の皆さんから何かございましたらお願いします。
よろしいでしょうか。

(特になし)

○及川教育長 よろしいでしょうか。ないようでしたら、「その他」を終了します。
それでは以上をもちまして、令和4年12月三浦市教育委員会定例会を閉会いたします。
どうもありがとうございました。

◇ 午後3時56分 閉会 ◇